

Rotary



週報

2023~2024年度
国際ロータリーのテーマ

世界に希望を生み出そう

No.01410 2024.2.19 第27例会

◆本日のプログラム

2月19日(月)
「創立記念夜間例会」

◆次回のプログラム

2月26日(月)
外部卓話
「地域において大学が
果たす役割とは」
岡山大学 学長
那須保友 様



CREATE HOPE in the WORLD

◆理事・役員 (2023.7~2024.6)

会 長	相 原 利 行
副 会 長	入 江 直 人
幹 事	森 本 剛 仁
副 幹 事	井 川 浩 典
理事・S.A.A.	西 岡 貞 則
副 S.A.A.	日 笠 常 信
会 計	橋 高 正 剛
理事・職業奉仕	与 田 卓 士
理事・社会奉仕	樋 口 芳 紀
理事・国際奉仕	久 松 哲 生
理事・青少年奉仕	笠 原 英 司
理事・会員増強	末 吉 賢 多
理事・プログラム	日 笠 伸 之
理事・親睦活動	小 林 龍 平
理事・ロータリー財団	堀 川 辰 也
直 前 会 長	鴨 井 利 典
次 期 会 長	山 田 喜 広

地区のスローガン

「希望の種を播きましょう。育てましょう。」

クラブのスローガン

「仲間を増やそう」

岡山北西ロータリークラブ

●例会場 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山

●例会日 毎週月曜日 12:30~13:30

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ

友好クラブ 京都朱雀ロータリークラブ

事務所 〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル 6階西F号室

E-mail : jimur@kyotosuzakurc.com

TEL(086)222-9590 FAX(086)224-4288

E-mail : hokusei@ok6rc.jp http://okayama-hokusei-rc.jp

クラブフォーラム(社会奉仕)

社会奉仕委員長 樋口 芳紀 会員



本日のクラブフォーラムは社会奉仕についてです。

当クラブでは対外的な社会奉仕事業として継続的に取り組んでおります「子どもシェルターモモ」と「岡山県犯罪被害者支援大学生ボランティア連絡会「あした彩」」の活動支援を行っております。今日は、被害者サポートセンターおかやま 代表理事 加藤裕司様をお迎えして、「犯罪被害者支援活動について」お話をいただきます。加藤さんは、2011年9月、長女みささん(当時27歳)を会社の同僚(派遣社員)によって殺害された被害者ご遺族でもあり、昨年9月に被害者サポートセンターおかやまの代表理事に就任されました。今日は被害者ご家族として辛く悲しい事件のお話いただくことになるかとは思いますが、私達もいつ被害者になるかわかりません、決して他人事とは思わず犯罪被害者支援活動についての理解を深め、改めて子どもシェルターモモへの支援を含め、今取り組んでいる社会奉仕事業の意義を再確認したいと思います。

公益財団法人 被害者サポートセンターおかやま 代表理事 加藤 裕 司 様

皆様初めましてVSCOの代表理事を務めさせていただいております加藤と申します。今日は大変貴重なお時間を頂戴していくつか自分なりにテーマを持ってお話をさせていただきたいと思っております。



○事件のこと

私に起きた事件についてお話をするととても長くなってしまうので簡単にお話をさせていただきます。

2011年9月30日金曜日に事件は起きました。岡山県警には大変お世話になりまして、早期に事件は解決しましたが娘が亡くなったという事実を知らされたときの心の痛みと申しますか、苦しみと申しますか、悲しみと申しますか、絶望感というのは、なかなか皆さまには想像できないのかなと思います。私は事件以来約10年余り全国で講演させていただきましたけども、娘が亡くなる前の瞬間、もう自分は死ぬのだなと思ったときに、何を思ったのかっていうことをよく考えます。いつもそのとき「お父さん、助けて!」と言ってたんじゃないかなと思うと、もうたまらなく辛くなります。何も出来なかった、娘を救うことができなかった。という思いを未だに引きずっております1年365日の中の約300日強はお墓に行きつづけています。そのときに娘に対して語りかけるのは『すまない』ってという詫言の言葉です。幸せな結婚を送らせてやる事ができなかった。親としての責任を果たすことができなかったという思いを未だにずっと引きずっております。加害者に対して恨みとかもいろいろありましたが、警察の方、検察の方、弁護士の方、支援員の方、裁判員裁判の裁判員の方、皆さんのお陰で死刑判決を獲得することができました。そして現在では、その死刑執行も終わりました。事件としては解決したということです。ただ、私達被害者の家族というのは、ある意味、加害者によって終身刑を言い渡されたのと同じなんです。決して忘れることもできないし、忘れてはいけないことなので自分の命が尽きるまで、このことを持ったまま生きていくのかなって思っています。死刑判決が出たと言って、何か私達の家族が得るものがあつたのかっていうと、何もありません。それは娘が生きて帰ってくれば、嬉しいとは思いますが、ただ、被告人が死刑になっただけで、私達には何も変化は起こってないんですね。ずっと空虚な日々を過ごしておりましたけれども、「今後どう生きるのか」ということを問われたときに、私は真剣に一体自分に何ができるのかっていうことをいろいろ考えました。結局、結論としては『娘に恥じない生き方をしたいな』ということです。どうすれば娘が天国で喜んでくれるのかということを考えてときに、全国には私達家族以上に苦しい思いをしている方がたくさんいらっしゃいます。そういう方たちの、少しでも救いになる、そういう活動をしていくことが、娘にとっては誇らしい父親なのかな。と思って現在に至っております。

○VSCOの代表理事として

私はVSCOの理事を数年務めさせていただき昨年9月に代表理事をお引き受けしました。被害者自身が被害者支援団体の代表理事になるということは非常に珍しいことですが、私が引き受けた理由は、私と同じような苦しみを持っている方たちを、苦しみから解放して差し上げたい、そういう努力を続けていきたいという思いからです。

VSCOは、数少ない会員の方の会費と国や県、市の補助金、寄付、自販機の収益の一部をいただいで活動しています。

講演会は年3回行っていますがそれなりに経費がかかります。これは県や市の補助金、警察の応援等で開催できているわけですが、実際に会場に足を運んでいただける方は、ほとんど行政や警察関係の方、支援の仕事をしている関係の方で、一般の方は2割にも満たないんです。本当はもっともっと一般の人たちに来ていただいて直接被害者の声というのを聞いていただきたいのですが、なかなか集まってくれません。殺人等のひどい事件に関わったというか、巻き込まれた方というのは、全国で約100万人位いるそうです。でもそれって全人口の0.1%にも満たないんです。ということは99.9%の方は幸せな方たちです。この幸せな方たちの支援がないと不幸な人は、なかなか報われない。したがって、この99.9%の方に話しかけ理解をしていただき、応援してもらおうとことが一番大事なのかなと思っています。

今の時代、誰もが被害に遭う可能性があります。逆に加害者になりうる可能性もあります。もし自分が被害者になったときにどう思うか、皆様方のお嬢さん、息子さんがそんな事件に遭ったら。と考えていただくと、理解いただけるかなと思うのですが、やはりご自分の身に起きない限り、言葉が悪いですけど他人ごとなんです。他人ごとというのはすぐ忘れてしまいます。なかなか自分の中に落とし込めない。でも年3回ある講演会に足を運んでいただき、何度も聞いていただければ少しはご理解いただけるのではないかと思います。決して楽しい話ではありませんが是非、一度講演会に足を運んでいただき直接被害者の声を聴いていただければありがたいです。

○あした彩の活動について

北西RCさんに大変お世話になっている「あした彩」の活動ですが、私すごく感謝というか、尊敬をしまして、こんな若い学生たちが、被害者の支援をするっていうことを、どうしてできるんだろうって、私が若いときにはそんなこと1ミリも考えたことはなかったです。我々の講演会のときも受付や司会などいろんな形で支援をいただいております。関心を持ってそういう行動を起こされていることにとてもありがたく本当に感謝しています。ただ、学生さんというのは、4年経ったら卒業していきます。これが盤石な組織体制で代々引き継がれていくような形にするためには、もっと何か必要なことがあると考えていまして、コロナ禍を経て、今も存続しているのは、結局は北西RCさんのご支援があつたことです。もし、この支援がなくなると案外脆く崩壊してしまうかもしれません。

今やる気、熱意を持っている学生さんに、今後とも熱意を持って活動していただくためには、例えばVSCOと北西RCさんと、学生

さんが一緒になって、この4年間をどう過ごすかという、どういう活動どんなことをやれば、自分たちが誇らしいことをやってきたと言えるのか、これは私達大人が考え与えたものでは多分継続できません。要は、学生さんたちがこれをやりたい、こういう支援をやりたいというものを一生懸命ディスカッションして、抽出していただく、それを我々が支えながら、結果をきちっと出せるということを経験していただければ、誇りを持って続けていけると思います。どうぞ引き続き「あした彩」のご支援をよろしくお願い致します。

○厚かましいお願い

最後は北西RCの皆様大変厚かましいお願いであります。お手元にお配りした資料にありますように、VSCOは、今は補助金等で成り立っています。本当はやりたいことがあるけど、補助金寄付金の比率がすごく高く、なかなか自由な活動ができていない状況にあります。皆様がいろんな奉仕活動に参加されていることは、重々承知しておりますが、被害者支援という私達のVSCOの活動に共鳴していただき、会員となって支援をしていただければ大変ありがたいと思っております。

個人の正会員は1年間で1万円です。法人の正会員は3万円、賛助会員は1万円です。法人会員はほとんど賛助会員です。なお、令和5年度は、3月で終わりますので、令和6年度から会員として入会いただければというお願いをもって私の話を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○追記

大切なことを言い忘れていました。2月17日のあした彩の卒業イベントに向けて学生さんが企画したホンデリングへの協賛、たくさんのお本をお持ちいただき本当にありがとうございました。感謝です!

前回2月5日の例会記録

出席の状況

会員数	48名(内出席免除者 0名)	出席者数	36名
欠席者数	12名	出席率	75.00%
欠席者	藤木、福元、久松、川本、木本、木庭、三宅、岡田、田原、丹治、氏房、吉田		

ゲスト

〈米山奨学生〉 ハシブ ファルザナ 様

会長報告

会長 相原 利幸

・本日より、事務局の中山さんの後任者で、2月1日に入局されました長田真季さんが例会に参加されております。長い期間勤めていただけを重視して採用させていただきました。皆さまにも、末永いお付き合いをお願いいたします。



・昨日、当クラブの親クラブである岡山北RCの創立55周年記念式典に、森本幹事と共に出席しました。記念講演は、当クラブの新地区補助金事業でも講演会をお願いしました、元岡山県立岡山盲学校教頭の竹内昌彦氏の講演でした。現在は、発展途上国の視覚障がいの子供たちの目の治療費を支援するために、基金を設立していらっしゃるそうです。

幹事報告

幹事 森本 剛仁

- ① 2月4日(日)岡山北RC様の創立55周年記念式典が開催され相原会長・幹事森本が出席いたしました。
- ② 本日例会終了後、13:30より「第8回理事役員会」を開催しますので、理事役員の皆様はご出席下さい。
- ③ 次週2月11日(月)の例会は振替え休日の為、取消しとなっておりますので、よろしくお願いいたします。
- ④ 「あした彩」令和5年度卒業イベントのご案内を配付しております。
- ⑤ 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より確定申告用領収証が届いておりますので配付しております。
- ⑥ ロータリーの友2月号、ガバナー月信Vol.8を配付しております。
- ⑦ 財団室NEWS2月号、盲導犬くらぶ会報第113号、他クラブ週報を回覧いたします。



スマイル報告

相原会長：VSCO代表理事の加藤様、ようこそご来訪いただきました。

本日より事務局の長田さんが出席されています。皆様、末永いお付き合いをお願いします。

森本幹事：日笠プログラム委員長、長い休みでしたね。2週連続で欠席した西岡S.A.A.、出席おねがいします。

樋口会員：加藤理事長様、本日急なご依頼に快諾いただき、ありがとうございます。卓話よろしくお願いいたします。

入江会員：日笠(伸)会員、復帰おめでとうございます。

長田様、よろしくお願い致します。

本日ひな壇、全員揃いました。

西岡会員：2週休みましてすみませんでした。

日笠(伸)会員：この度は大変長らく例会をお休みさせていただき、ご心配とご迷惑をお掛けいたしました深くお詫び申し上げます。初心に返り頑張っております。これからも温かく見守っていただけると幸いです。

新山会員：相原会長、先日はご馳走様でした。楽しいお時間をありがとうございます。

菅 会員：相原会長、先日はご馳走様でした。ありがとうございました。

8件 22,000円 (累計1,114,000円)

委員会、同好会報告等

事務局 長田様 新任挨拶

長田 真季（ながた まき）
生年月日 7月
住所 岡山県倉敷市



岡山北ロータリークラブ創立55周年記念式典・祝宴

去る令和6年2月4日、ホテルグランヴィア岡山にて、スポンサークラブ岡山北ロータリークラブ様の創立55周年記念式典に参加させていただきました。相原会長と森本幹事が出席いたしました。



第7回理事・役員会議事録

日時 2024年1月15日(月)17:30~18:40 場所 ホテルグランヴィア岡山3階「トパーズの間」

1. 開会 会長 相原 利行、司会・幹事 森本 剛仁
2. 出席者の確認 副幹事 井川 浩典
相原利行 入江直人 森本剛仁 西岡貞則 日笠常信 橋高正剛 与田卓士 樋口芳紀 笠原英司
末吉賢多 小林龍平 堀川辰也 鴨井利典 山田喜広 オブザーバー 槌田道弘 藤島和美
3. 会長挨拶 相原 利行
4. 審議事項
 - ① 1月~3月のプログラムについて (資料1)
イニシエーションスピーチ2nd進めていく。
 - ② 創立記念夜間例会事業計画について (資料2)
親睦委員会にて進行、アトラクションはゲームを企画(賞品あり)報告、承認された。
 - ③ 後期会費について (資料3)
資料3の通り、承認された。
 - ④ 2022-2023年度決算について (資料4)
予算について説明され、資料4の通り承認された。全会員に報告する。
 - ⑤ 後期行事について (資料5)
新入会員増加と出席率向上のため行事案内をする。
4月1日(仮) IDM(花見) 昨年通り業者に依頼で進める。
4月24日 6RC合同懇親会を例会扱いとし、4月22日を取消とする。
 - ⑥ 令和6年能登半島地震義援金について (資料6)
4月22日、29日例会時にBOXにて募金を募る。
 - ⑦ その他
5. 協議事項 特になし。
6. 報告事項
 - ① 社会奉仕委員会活動報告について (資料7)
社会奉仕委員長より活動、収支について報告があった。
 - ② 次年度理事役員の変更について (資料8)
副幹事、副S.A.A.の変更について承認され、後日報告する。
 - ③ 次年度地区委員の推薦について (資料9)
堀川会員を推薦すると承認された。
 - ④ その他 ・インターアクトについて、1月末に結論出す旨の連絡があった。
・スマイルをお願いします。
7. 閉会 副会長 入江 直人

メニュー情報

本日のメニュー (2月19日)

創立夜間例会特別メニュー

次回のメニュー (2月26日(ヘルシーランチ))

味噌カツ丼 大根サラダ 赤出汁 香の物 コーヒー



前回メニュー(2月5日) :
魚介のナーージュ 柚子の香りと共に